

「中国で出会った東洋の心」 文化講演会



平成13年3月25日(日)午後金沢地区センター大会議室で文化講演会「中国で出会った東洋の心」(漢方と気功と人との)が開かれました。講師は金龍澤先生(北海道薬科大学卒業後、中国北京中医学院留学、漢方薬の金龍堂薬局を開設された)。

「山口県で生まれた私が一才の時、高熱により熱性痙攣を起こし、口から泡をふくような状態になりました。しかし日曜日であり町まで出たのだが病院は休みで、途方にくれてバス停で泣いていた母に、声をかけた女性が漢方薬専門店を教えてくれました。その店で黒っぽい小さな玉の薬をもらい、口にして数十分もすると熱が下りだし、スヤスヤ眠りはじめた。私はその老漢方医に命を救われました。その私が漢方医学を志し、漢方薬局を開いているのも何かの縁であつたと思うことがあります。私達人間も動植物も、全て地球という存在あつての生き物です。宇宙空間があり、太陽・地球があることで、一日・一年のエネルギー変化が生じ、それをうけて森羅万象、自然の摂理に従つて生死を送つています。古人は天空を仰ぎ、宇宙を想像し、大自然も徹底して観察することによってこの自然の摂理を見出しました。

宇宙と地球の間にあら人体や自然の中には、その宇宙の法則が働いておりそれが大宇宙の中に小宇宙ともいえるのです。これが「天地人合一」という中国古来の哲学であり、東洋医学の源になる思想です。古人がこの思想に基づいて、動植物などの性質を見きわめ、薬としての効き目を推測し、応用したものが漢方薬です。

先生は北京のすばらしい公園で、早朝から氣功を楽しむ中国の人々の話など、二時間ほど七十名の来場者が話されました。

このような発想と考え方から、私達を取り巻いている生活環境や自然環境と私達の心や体に関わる基本原理を知ると、ある古人達が語る「東洋の心」とも云うべき宇宙観を見いだせるでしょう。その法則に調和することの意味を良く心得て行くならば、私達は現在でも古人の心を感じ取ることが出来、物事を見つめる時も、偏見のない宇宙的、地球的視野に立てることができます。私は今、自他共にあらゆる偏見から脱した目で物事を見ることができ、いつも幸せな気持ちでいられる理由がここにあるわけです。

私は科学的なものの見方のうえからなる現実的な考え方をする教育を小さいときから受けているせいいか、感じるということがいかに重要なもののか知つていなかつたようになります。そのせいか、いつのまにかその教えられたことを疑う事もせず、科学的な目で見える事のみを信じ、それに固執して固定観念にがんじがらめになつていていたように思います。科学的に証明できないものは理解しやすく、分らなかつたのです。感覚的に物事を感じとるセンスが不足していたように思うのです。

先生は北京のすばらしい公園で、早朝から氣功を楽しむ中国の人々の話など、二時間ほど七十名の来場者が話されました。

金沢区文化協会会報

金沢区文化協会

編集人 加藤千之輔
広報部長

電話 783-9731

発行人長 助川信彦

電話 781-9337

い よ し い

定期総会開催



会場風景

平成13年9月15日

し
お
さ
い

平成13年度金沢区文化協会の総会が5月13日(日)午後金沢地区センターの大会議室で開かれました。出席者は49名(別に委任状77名)。助川会長より地域文化発展に寄与すべく鋭意活動中ですとの挨拶があり、来賓祝辞として金沢区役所地域振興課島田係長より、昨年産業団地との交流をお願いしたが、写真教室という形で実行して頂いた。今年は青少年の健全育成にご協力下さいとのご挨拶がありました。また国吉議員より、心豊かな21世紀を迎えるために文化ホール建設に努力している。黒川議員より、ホール建設に調査費がついたこと、文化協会が総合文化団体と

して横浜でも珍しい存在ですと祝辞をいただきました。

助川会長を議長に平成12年度の事業報告より議事に入りました。後藤事務局長より今期の方針として、文化ホール建設促進・会員相互の交流と親睦・青少年の文化活動交流を掲げ、そのあと12年度事業報告が詳細に行われた。更に12年度会計報告・13年度事業計画・13年度予算案がそれぞれ担当理事より報告、また施行細則改正案で顧問と企画部長をおくことなど原案どおり承認され、最後に新理事を含む役員紹介があり午後3時総会が終了しました。

休憩後殆ど全員出席のまま例年どおり懇談会となりました。後藤事務局長より文化ホール建設運動の経緯の説明のあと、小幡議員より文化ホール建設にはどのようにその施設を利用するか、その使用方法のソフトの充実を計ることが大切とのお話をありました。また陶芸家の木村隆男氏より、金沢区は横浜市の歴史の表玄関であり、情報の発信地の立場にあり、子孫のために文化ホールを建てたいと発言がありました。

総会が長引き懇談会の時間が短かつたようですが4時45分散会しました。

産業団地
との交流を
目的に「初
心者写真教
室」が本年
1月から産
業振興セン
ターを会場
に開かれま
した。



産業団地の従業員の方々を対象にしたので、夜6時から2時間、月2回、5ヶ月間の10回コースを設定、隣接する並木団地の方々も参加しましたが、「新しい世界が開けた」と受講者に喜ばれました。出席率も非常によく90%を越え、その修了生を中心に「並木カメラサークル」として写真に親しみつづけることになりました。

にも参加のお誘いをしました。受講者が23名と予定を上回り、1月16日から講師岩瀬理事で始まりました。

講習は要点を解説したテキストを毎回配布、3回目で基礎を勉強したのち実地に撮影の日を作り鎌倉・大船・新宿御苑・久里浜緑地と毎月1回遠出をし、写真を撮る楽しさを実感しました。5月22日第10回で終了しましたが、「新しい世界が開けた」と受講者に喜ばれました。出席率も非常によく90%を越え、その修了生を中心、「並木カメラサークル」として写真に親しみつづけることになりました。



第3回 金沢区民俳句大会盛会

6月24日

初夏の風が爽やかな一日、例年のように金沢地区センター大会議室に於いて第3回金沢区民俳句大会が

た。毎回熱心な俳句愛好者が参加され、盛況裡に終了することができました。

当日の上位入賞者は次の通りです。

一位 リヤカーに紫陽花添えし野菜売り

奥村文洋(柴町)

二位 紫陽花や少し気になる子の暮らし

川畠文子(富岡東)

三位 何を恋う浜昼顔は海へ向く

坂 寒仙子(泥亀)

また11月頃には秋の吟行を計画しています。ぜひご参加下さい。

産業団地写真教室開かれる

行事予告

(金沢産業団地・歴史講演会)
北条時宗・貞時の時代の幕府政治

講 師：永井 晋先生
(県立金沢文庫主任学芸員)

日 時：10月6日(土)
13:30～15:30

受 付：13:00～

会 場：金沢産業振興センターホール
(シーサイドライン産業振興
センター前下車)

入場料：無料

定 員：先着200名

主 催：横浜シーサイドフォーラム

共 催：金沢区文化協会

後 援：金沢区役所

問合せ：白井俊一
(金沢区文化協会)

Tel 781-8665



文化協会と金沢区役所の共催で「第3回手づくり絵本教室」が金沢地区センターで、5月12日と26日の2回にわたり開催されました。

児童文化部・氏家理事ほかの指導で児童24名が参加しました。終了時感想文を書いてもらいました。「どんなえほんにしようかとかんがえるのがたのしいでした。おりがみをおつたり、えをかいたり、たのしかった」(1年おおた)(2年さきれいな)「犬夜叉」や前の日に見た夢のことを書いていくと、どんどんアイデアが出てきて「変身王」という絵本になりました。(5年北見将也)

第3回 手づくり絵本教室

日本舞踊 体験レッスン



「夏休みに日本舞踊を習いませんか」
小中学生を対象に、金沢区日本舞踊連盟は無料体験レッスンを計画しました。
7月29日を第1回に。8月2日・7



盛大に金沢歌謡祭



正次歌謡祭
7月29日 金沢公会堂
で金沢歌謡会と文化協会の共催のもと、「01金沢歌謡祭」が開かれました。この催しは歌の爱好者人は誰でも参加でき、歌のレベル向上を目的とする会で、相模原・茅ヶ崎・横須賀と遠方からの参加者もいて、熱氣あふれる大会でした。審査結果は下記のとおりです。幼い頃から歌が好きで、歌の勉強をしていた十代の方がグランプリ上位でした。

大会結果 参加人数170人 入場者600人

	一般	シニア (60才以上)	なつめろ	デュエット
1位	小林 輝 (13才)	伊郷 春次	小西 幸子	加納・青木組
2位	田中喜美子	大木芳太郎	小杉山 茂	曾川・花田組
3位	安西 知佳 (17才)	斎木 節子	斎田 敦士 (11才)	内山夫妻組

グランプリ (各部総合上位30名による決勝)

- 第1位 小林 輝 (龍馬残影)
第2位 安西 知佳 (ねんねんふるさと)
第3位 重森 一夫 (これから峠)



満員の参加者の熱気のなか、午後8時30分幕が降りました。

学校低中学年の中数名が、「さくらさん」のテープに合わせて、浴衣に扇子を持ち、一生懸命練習していました。お稽古が終わるとき、子供たちが正面座して両手を前に揃え「どうもありがとうございました」と頭を下げていた。金沢地区センター大会議室がお稽古場になりました。ビニールの床をきれいに拭き、西川理事長四・五名のお師匠さんの指導で、小今後も何回かおさらいをつづけ、12月9日に金沢公会堂の「第6回金沢区日本舞踊連盟公演」で発表されるそうです。どの位うまくなっているか楽しみです。

学校低中学年の中数名が、「さくらさん」のテープに合わせて、浴衣に扇子を持ち、一生懸命練習していました。お稽古が終わるとき、子供たちが正面座して両手を前に揃え「どうもありがとうございました」と頭を下げていた。金沢地区センター大会議室がお稽古場になりました。ビニールの床をきれいに拭き、西川理事長四・五名のお師匠さんの指導で、小今後も何回かおさらいをつづけ、12月9日に金沢公会堂の「第6回金沢区日本舞踊連盟公演」で発表されるそうです。どの位うまくなっているか楽しみです。

八景島あじさいまつり 金沢茶道会参加



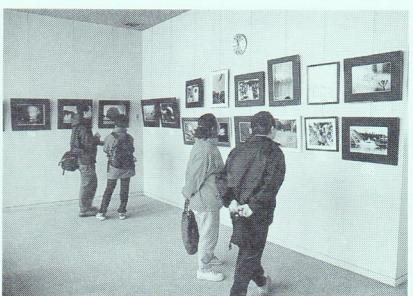
県内最多の2万株を誇る八景島シーパラダイスで今年も第2回「あじさい祭り」が6月9日から23日まで開催され

ました。金沢茶道会では、初日あじさいの美しく咲き揃った「丘の公園」で茶会を催し、お天気に恵まれ350名の方々に呈茶でき大盛況でした。「あじさい祭り」では昨年に続き「フォトコンテスト」が行われ182点の応募がありました。全作品が客船ターミナルホールに展示され、文化協会所属の写真クラブのメンバーの作品も多く飾られていました。

文化協会関係 行事予定（連絡先）

10月2日(火) 金沢地区センター 親子で楽しむ「おはなし会」 (児童文化部)	10月2日(火)～31日(水) 豊海銀行金沢文庫支店 称名寺芸術祭参加「鎌倉を撮る」(写真部有志)	10月17日(木)～21日(日) 金沢地区センター 区民文化祭「区民の作品展」	10月20日(土) 金沢地区センター 華道展(20～21日)お茶会(21日)	10月21日(日) 金沢公会堂 第21回 呪童アート教室	10月29日(月)～11月4日(日) 金沢地区センター 雙彩会展(絵画展)	11月10日(土) 金沢公会堂 金沢三曲会 三曲演奏会	3月16日(土)～19日(火) 金沢地区センター 金沢区文化協会設立7周年記念 第1回 金沢小・中学校音楽祭
(701) 3689	(771) 4570	(773) 1395	(701) 9720	(783) 3962	(701) 0795	(784) 5860	(701) 2372
11月11日(日) 金沢自然公園 第2回 金沢俳句会吟行会	11月18日(日) 金沢地区センター 第3回 金沢区民短歌大会	11月18日(日) 金沢地区センター 第3回 金沢区児童生徒席書大会	11月23日(祝) 金沢公会堂 第6回 吟と舞の祭典	12月9日(日) 金沢公会堂 第6回 金沢区日本舞踊連盟	14年2月 金沢地区センター 第7回 真展 わたしたちの金沢写	14年2月 金沢地区センター 金沢吹奏楽団 第31回 定期演奏会 (創立40周年記念)	3月16日(土)～19日(火) 金沢地区センター 金沢区書道協会展
(701) 2372	(788) 2691	(774) 9382	(701) 9207	(783) 2284	(701) 2372	(781) 9134	(701) 2372

第6回 わたしたちの金沢写真展



対象は金沢区内の風景・行事・スナップに限定し、平成7年文化協会発足以来毎年続けております。

理事会だより

- 6 5 4 13 理事会だより
- 3・4 会長より5・13総会に向けて準備指示。出欠報告・会員報告・会計報告・各部会報告(次月以降省略)。
- 3・25文化講演会準備状況報告と応援要員決定。
- 3・30総会通知と「しおさい」12号を発送。
- 5・13総会役割分担確認。総会議案書(案)検討。
- 13総会終了後開催。新理事自己紹介。産業振興センターの歴史講演会準備状況報告。6月より会場が八景コミニティハウスに変更。
- 13文化ホール建設について市・区当局に再度陳情書を提出(9月末)。部会活動の活発化・部門編集委員

編集後記

平成7年9月の第1号から「しおさい」編集に携つて来ましたが、5月の総会で事業部長に就任しました。広報部長の後任は加藤千之輔氏です。今後は編集委員として協力します。

佐野史瑞子・後藤政也・氏家総子 加藤千之輔・岩瀬昭二・森川淳子

ところで第5回までは、毎年9月初めに開催しておりましたが、秋の展覧会シーズンに近づるとの意見があり、この回から2月に変更しました。文化協会加入の5団体の会員と個人会員の有志55名が参加しました。称名寺・海の公園・八景島・自然公園と取り上げられる場所は同じようですが、称名寺本堂前の結婚披露の記念の楽しそうな「嘉日」や、一月末の大雪のとき作つた雪国を想わせる「かまくら」で遊ぶ子供のスナップ写真も話題となりました。

第6回わたしたちの金沢写真展に於ける会員の有志55名が参加しました。文化協会加入の5団体の会員と個人会員の有志55名が参加しました。称名寺・海の公園・八景島・自然公園と取り上げられる場所は同じようですが、称名寺本堂前の結婚披露の記念の楽しそうな「嘉日」や、一月末の大雪のとき作つた雪国を想わせる「かまくら」で遊ぶ子供のスナップ写真も話題となりました。

第6回わたしたちの金沢写真展が2月27日から3月4日まで、金沢地区センターのロビーで開かれました。

ところで第5回までは、毎年9月初めに開催しておりましたが、秋の展覧会シーズンに近づるとの意見があり、この回から2月に変更しました。文化協会加入の5団体の会員と個人会員の有志55名が参加しました。称名寺・海の公園・八景島・自然公園と取り上げられる場所は同じようですが、称名寺本堂前の結婚披露の記念の楽しそうな「嘉日」や、一月末の大雪のとき作つた雪国を想わせる「かまくら」で遊ぶ子供のスナップ写真も話題となりました。